

## 栄養学分野

[問題 1] 「日本人の食事摂取基準 2010 年版」について述べたものです。( ) に該当する語句または数字を解答欄に記入しなさい。

1. 栄養素の摂取不足の有無や程度を判断するための指標として ( ① ) を算定した。①は集団に属する 50%の人が必要量を満たすと推定される摂取量として定義される。さらに①を補助する目的で ( ② ) を設定した。①と②が設定できない栄養素については ( ③ ) を設定することにした。また、過剰摂取による健康障害を未然に防ぐことを目的として ( ④ ) を設定した。
2. ( ⑤ ) は生活習慣病の一次予防を目的として、今回の策定では循環器疾患、がんの一次予防に限り、( ⑥ )、( ⑦ )、( ⑧ )、( ⑨ ) ( ⑩ )、ナトリウムについて策定を行った。
3. 食塩摂取量は成人において今後 5 年間に達成したい⑤として、男性は ( ⑪ ) g/日未満、女性は ( ⑫ ) g/日未満を策定した。

[問題 2] 代謝について述べたものです。文中の ( ) 内に該当する語句または数字を解答欄に記入しなさい。

1. 解糖によって生じた ( ① ) は好氣的条件下では ( ② ) と ( ③ ) に完全に分解される。一方、嫌氣的条件下では①は ( ④ ) に還元される。
2. ( ⑤ ) 系と ( ⑥ ) 系の脂肪酸は体内で合成できないため、食物から摂取しなければならない。このような脂肪酸を ( ⑦ ) といい、( ⑧ )、( ⑨ )、( ⑩ ) が挙げられる。
3. 食事由来の吸収されたアミノ酸は、体たんぱく質の分解によるアミノ酸と合流して ( ⑪ ) を形成している。そして、⑪を中心に体たんぱくの合成と分解、アミノ酸の分解と合成を繰り返して ( ⑫ ) を維持している。

[問題 3] 「食事バランスガイド」について述べたものです。( ) に該当する語句または数字を解答欄に記入しなさい。

形状のイメージは「コマ」で、上段から ( ① )、( ② )、( ③ ) の順に並び、食事のバランスが悪くなると倒れてしまうことを表している。コマの軸は ( ④ ) で、食事に欠かせない存在であることを強調している。また、( ⑤ ) はコマを回すヒモとして表現した。

[問題 4] ライフステージの栄養について述べたものです。( ) に該当する語句または数字を解答欄に記入しなさい。

1. ( ① ) とは身長や体重が成長することを指し、( ② ) とは言語や運動機能の成長を指す。
2. 出産直後から約 1 週間分泌される母乳は ( ③ ) と呼ばれ、( ④ ) や ( ⑤ ) などの感染抑制物質を多く含んでいるので、与えるように努力するとよい。
3. 子どもの発育評価は乳児期には ( ⑥ ) 指数、学童期には ( ⑦ ) 指数が用いられる。
4. 高齢者では不感蒸泄による ( ⑧ ) や誤嚥による ( ⑨ ) を起こしやすい。

[問題 5] 栄養障害および食事療法について述べたものです。( ) に該当する語句または数字を解答欄に記入しなさい。

1. 栄養失調症にはたんぱく質摂取不足を主とする ( ① ) と、たんぱく質とエネルギー共に不足した ( ② ) がある。
2. メタボリックシンドロームの診断基準はウエスト周囲径が男性 ( ③ ) cm 以上、女性 ( ④ ) cm 以上で、さらに脂質異常症、高血圧、空腹時高血糖のうち ( ⑤ ) 項目以上が該当した場合とする。
3. 糖尿病の合併症は、( ⑥ )、( ⑦ )、( ⑧ ) である。
4. 食品交換表は栄養価により食品を群別に分け、糖尿病の食品交換表は ( ⑨ ) ( ⑩ ) を 1 単位とし、腎臓病の食品交換表は ( ⑪ ) ( ⑫ ) を 1 単位としている。